

活動地

上山市蔵王地区

団体紹介

平成26年に、蔵王地内に存する農用地、水路、農道などの地域資源及び農村環境の保全を図ることを目的に発足した。昨年度より、豊かな森づくり事業に賛同し、地区内の支障木の伐採などを主に、「住みよい蔵王地区づくり」を自らの手で行うことにより、過疎化、高齢化が進む中で、地域の活性化を図ってきた。

活動内容

実施日：令和3年4月20日～令和3年10月末日



④ 電気線の下には電話線が通っています。



⇒ すっきりしました。電線もいきいきして見えます。



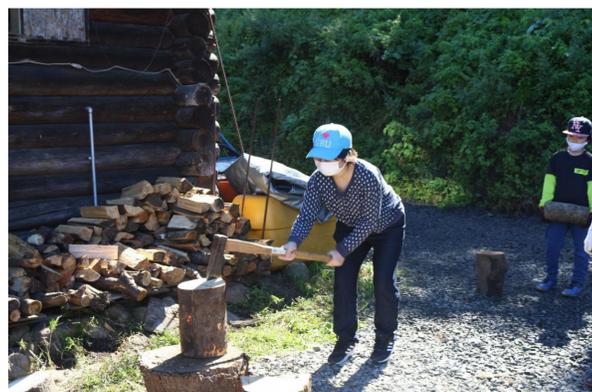
⑦ ↓ 体に合わせて小さい斧で小さい丸太を割ったよ



⑤ 斜面上端の立木が倒れ込んで電線を被っています



⇒ 電線への影響もなく安心です。



ちょっと腰がひけてますよ。



⑧ チェンソーは力づくでは使わない



⑨ カーブの先が見えない



⇒ 雑木を取り除くことで先が見通せるようになりました。

①開催日	4月23日	支障木の伐採	視界を妨げる支障木の伐採	参加者： 3名
②開催日	5月23日	支障木の伐採	電線や道路に被さる	参加者： 13名
③開催日	5月26日	支障木の伐採	カタカリ地区水道施設に倒れる恐れ	参加者： 11名
④開催日	6月20日	支障木の伐採	市道に張り出した桜木	参加者： 12名
⑤開催日	7月25日	支障木の伐採	田形地区堀割り道路斜面の高木	参加者： 7名
⑥開催日	9月15日	支障木の伐採	カタカリ地区神社の枯れ木	参加者： 7名
⑦開催日	9月20日	薪割り体験	支障木を玉切りにして薪割り体験	参加者： 16名
⑧開催日	10月17日	安全作業講習会	森林経営者育成講座の受講者による	参加者： 16名
⑨開催日	10月17日	支障木の伐採	高原橋付近県道カーブの見通し	参加者： 16名

活動を行っての感想

2年目に入った活動は、昨年同様に、毎月の運営委員会において、会員からの支障木情報を元に、優先順位を付けて実施、見通しも良くなり住みよい豊かなみどりの地区になっています。地区内の支障木もこの活動で少なくなり、次の活動としては、地区外の皆さんにもこのみどり豊かな地区を訪れて心をやしてもらえらるような取り組みをしていきたいと思っています。昨年は、小中学生に声がけして行った、「薪割り体験」を行いました。今年は、小中学生に加え幼稚園児も小さな斧を持って体験し皆楽しんでくれました。その合間にも、散歩をしたり近くの小川で生き物とふれ合ったり自らの好奇心で散策し自然の中で過ごして行きました。